地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2016
7月
No.26

兵庫県立尼崎総合医療センター

［新たな診療取り組み］

【経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）】

大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療“TAVI”ついに始動！！

［診療科紹介］歯科口腔外科

［部 門 紹 介］外来化学療法部
チーム医療で外来がん化学療法をサポートします。

● スタッフのつぶやき　● ぶらり～っと病院探訪

最先端医療

ハートチーム（循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、看護部
臨床工学部、放射線部、臨床検査部、リハビリテーション部）

AGMC 新たな診療取り組み
【経カテーテル的
大動脈弁留置術】

TAVI報告：第2弾

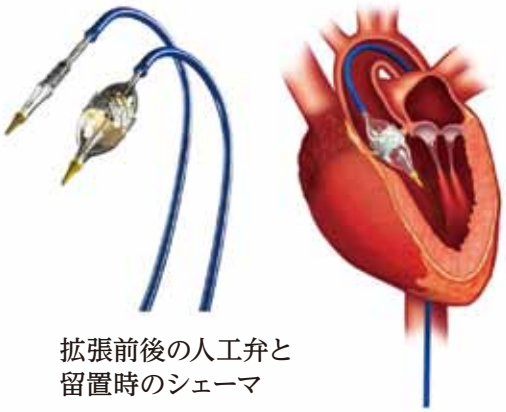
大動脈弁狭窄症に対する（タビ）カテーテル治療“TAVI”ついに始動!!

＜経カテーテル的大動脈弁留置術＞
Transcatheter Aortic Valve Implantation ; TAVI

TAVI（タビ）はカテーテルを使って生体弁を留置する新しい手術法で、従来の手術と異なり心臓を止めずに行え、人工心肺も不要です。そのため体への負担が軽いのが魅力です。

（第1弾掲載）
本誌5月号も
参照ください

使用する人工弁



拡張前後の人工弁と
留置時のシェーマ

去る平成２８年５月中旬に当院で初となるＴＡＶＩ（タビ）を実施しました。患者様は高齢かつ脳梗塞の既往のある方でしたが、手術に成功し術後５日目に独歩で元気に退院されました。６月下旬の現時点で４例（平均年齢は８４歳）の手術に成功し、全員が**術後5日目までに退院**されました。低侵襲治療の威力をあらためて実感しています。

本年４月までは阪神地区では実施例がなく、本地区の患者様は遠方の施設で治療を受けていただいておりましたが、ようやく本地区で治療が完結することが可能になりました。高齢などの理由で手術を悩んでおられる大動脈弁狭窄症の患者様がおられましたら、気軽にご相談ください。窓口は 循環器内科の火曜外来（担当医 当麻）ですが、他の曜日や心臓血管外科の外来を受診いただいても結構です。最終的に当院のハートチームで方針を検討させていただきます。

循環器内科部長／カテーテル部門長　当麻 正直
心臓血管外科部長　大野 暢久

ハートチームのメンバー

歯科口腔外科

地元のニーズに応えられますように、今後も一層の努力をしていきます

当科は、昨年7月の病院開院と同時に開設しました新しい診療科です。
口腔領域の疾患を専門に扱います。また、院内でがん治療を受けられる方への周術期口腔機能管理（治療前後の口腔ケアや抜歯など）を尼崎市歯科医師会と連携して行っています。

歯科口腔外科科長

藤村 和磨

日本口腔外科学会専門医・指導医
日本顎関節学会専門医・指導医
日本小児口腔外科学会指導医

中列左2番目：碇谷歯科医師
前列左から：藤田歯科医師、小山歯科医師、藤村歯科医師、岡本歯科医師

対象とする疾患や治療

- **顎骨増生治療（がっこつぞうせいちりょう）**
  自己血多血小板血漿療法を使用した顎骨増生治療をはじめます。ご自身の血液（血小板）を骨の欠損部に充填して骨を増生させます。腫瘍や外傷であごの骨がなくなり食事が摂れない方や、上顎の骨が薄く歯科インプラントを埋め込むことが難しい方が対象です。（2016年1月厚生労働省認可）

- **あごの骨折**
  骨折および口腔内裂傷などの外傷の治療を行います。

- **顎関節症（がくかんせつしょう）や顎関節脱臼（がくかんせつだっきゅう）**
  顔面に傷が残らない顎関節内視鏡を併用した手術を行います。

- **顎変形症（がくへんけいしょう）**
  あごが歪んでいる方では、個人の病態により、従来の手術法の他に新しい手術法を選択します。小顎症では骨延長をします。

- **口腔腫瘍（こうくうしゅよう）**
  腫瘍切除後のあごの欠損を顎補綴（がくほてつ：あごを含めた義歯）で補い、咀嚼（そしゃく）機能の回復まで一貫した治療を行います。

- **全身麻酔下での歯科治療**
  一般診療所で治療が困難な障害のある方には、必要に応じて全身麻酔下での歯科治療を行います。

- **親知らずの抜歯**
  短期入院の全身麻酔での抜歯も行っています。局所麻酔でも、主に中央手術室で清潔と安全を確保して抜歯を行っています。

部門紹介

外来化学療法部

チーム医療で外来がん化学療法をサポートします。

外来化学療法部は、がんに精通した医師、看護師、薬剤師から構成され、がん患者さんの薬物療法（抗がん剤や分子標的剤を用いた治療）を行っています。外来化学療法室では、広々とした明るい空間に電動リクライニングチェア23台、電動ベッド7台の合計30床を配置し、快適に治療を受けていただけるよう配慮しています。

◉安心・安全な化学療法の提供

治療前に、医師・看護師・薬剤師が、それぞれ専門性を生かして1人1人の治療スケジュールや副作用対処法を説明し、患者さんの不安感を軽減するよう努めています。治療当日は、専任薬剤師が安全キャビネットで薬剤の無菌調製を行い、専任看護師が点滴施行中の副作用を管理し帰宅後の注意点について説明しています。治療中に急な病状変化がみられた場合には、医師が迅速に対応するシステムを整えており、チーム医療で外来がん化学療法をサポートすることを心がけています。

年間の外来がん化学療法件数は約7000件で、血液がん、肺がん、消化器がん、乳がん、泌尿器がん、婦人科がん、などあらゆる臓器の悪性腫瘍に対して行っています。今後、益々治療件数が増加することが予想されますので、がん診療について地域医療機関とスムーズに連携できるよう努めてまいります。

化学療法担当部長

諏訪 裕文

京都大学医学博士　京都大学臨床教授
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
日本がん治療認定医機構認定医
日本外科学会専門医・指導医
日本乳癌学会乳腺専門医・指導医

尼崎総合医療センターからの 大切なお知らせ

必ず、かかりつけ医からの紹介状をお持ちください！

平成28年7月1日(金)から、紹介状なしで当院を受診された方の追加の自己負担額(選定療養費額)が変更になりました！

平成28年度の診療報酬改定により、当院のような500床以上を有する地域医療支援病院では、紹介状なしで当院を受診される患者さんに対して、追加の自己負担額(選定療養費)の徴収が責務となりました。

◉追加の自己負担額(選定療養費)が必要となる方

A. 紹介状をお持ちでない初診患者さん
B. 当院から「かかりつけ医」や他の医療機関へ紹介(当院は終診)されたのち、予約もなく、紹介状なしで再診された患者さん

但し、下記の方は、追加の自己負担が不要です。
- 「かかりつけ医」などからの紹介状を持参された患者さん(初診・再診)
- 当院の診察予約のある再診患者さん
- 救急車搬送された患者さん、公費負担の患者さん等

◉追加される自己負担額：平成28年7月1日より

A.紹介状をお持ちでない初診患者さん ➡ 医科：5,000円、歯科：3,000円(今まで：2,600円)
B.「かかりつけ医」などを紹介(当院は終診)された後、紹介状を持参されずに来院された再診患者さん
➡ 医科：2,500円、歯科：1,500円(今まで：なし)

当院は、地域医療機関との医療連携(紹介・逆紹介)を大切にする病院です。

選定療養費(初診)5,000円

News 院内トピックス

ヘリコプターによる重症患者さんの受入れ

県立尼崎総合医療センター(AGMC)建物の屋上には、ヘリコプター発着のためのヘリポートが設置されています。

先日午後、和歌山県の病院からAGMCへの生後2ヶ月の赤ちゃんの重症患者の受け入れの要請があり、当センター小児救急科医師2人が、ヘリコプターに乗って患者さんを迎え受入れ搬送を行いました。患者さんは1週間の治療を経て回復し、無事に元の病院に戻ることができました。

このようにAGMC救急救命センターは、阪神医療圏だけでなく近畿一円の高度専門救急医療を担っています。

スタッフのつぶやき

救命救急センター ドクターカー運転手って…!?

左から：岡澤さん、松葉さん
常さん、勝井さん

チーム医療を意識した救急搬送

救命救急センター ドクターカー運転手　勝井　実

私たちドクターカーの運転手４名は、運転歴30年以上のベテランです。昨年、県立尼崎病院から県立尼崎総合医療センターに移転する前からドクターカー運行準備に携わってきました。初めてドクターカーを見たときは、「こんな大きなマイクロバスの運転大丈夫かなー」って、正直不安でしたが、そんな不安は今では吹き飛んでしまいました。つい最近ではDMATとして熊本地震に初出動しました。ドクターカー要請では、尼崎市内はもとより、阪神北、南圏域まで出動し、また転院搬送では県外の病院まで広域搬送することもあります。まだまだ始まったばかりで至らない所もあるかと思いますが、これからもチーム医療を意識し、皆さんに信頼されるドクターカー運転手になれるよう、日々精励していきます。

ぶらり～っと病院探訪

日々、気づかない ところでの院内環境整備 中央監視室

画面に並べられた多くのモニターや監視装置

今回は中央監視室を訪ねました。部屋に入るなり、壁面に並べられたたくさんのモニターや監視装置が目を引きます。ここは、建物としての病院の機能をコントロールしている部屋です。

エレベータや空調の管理や電気、水道、ガス等エネルギーの安定的な供給、セキュリティシステムや防災システムの運用などは、この部署が集中的に担っています。また、隣の部屋にはガス焚吸式の空調設備、ボイラー、館内に温水、冷水を送水するポンプ等大きな器械が所狭しと並んでいます。こういった建物・設備の監視や、日常的な保守点検は、10名の職員と委託業者が交代で常駐し、24時間365日途切れることなく続けられています。

スタッフにこれまでの業務の中で大変だったことを聞いてみました。

「中央監視室は多くのシステムを抱えており、故障が一度に複数発生する場合もあります。開院当初は分からない警報もありましたし、特に開院日7月1日の患者さんの移送にあたり、旧尼崎病院、塚口病院と新病院の3施設の運用管理を同時に行なった時は大変でした。真夏のことでしたので空調設備がダウンするようなことがあってはいけません。慣れない設備の中でしっかりとしたチームワークが求められました。」とのことでした。

中央監視室は、多くのスタッフや来院者が快適に院内で過ごせるよう、日々、気づかないところで院内環境を整備しています。まさに縁の下の力持ちといった部署といえます。

編集後記

6月です。とうとう梅雨入りしましたね。蒸し暑かったり肌寒かったりと体調管理が難しい季節ですが、明るい時間が長くなり私はちょっと得した気分です。早いもので尼崎総合医療センターが開院してほぼ1年がたちました。当初は皆さんに色々とご不便をおかけしたことと思います。これからも、全職員一丸となって皆さんを支えていけるように頑張りますので、応援よろしくお願いします！　（N.I.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社